

ローランド ディー.ジー.株式会社

第42期（2022年12月期）
定時株主総会

2023年3月24日

ライブ配信に関するご案内

◆ご来場の株主様へ

- 本総会のご来場の株主様のプライバシーに配慮の上、配信いたします。
- 議長席および役員席のみ撮影いたします。
- 目的事項でない、個人を特定するご発言はお控えください。

◆ライブ配信でご視聴される株主様へ

- 映像や音声に不具合が生じる場合がございます。
- 音声・動画の録画はお控えください。

報告事項

1. 第42期（自 2022年1月1日 至 2022年12月31日）事業報告、連結計算書類並びに会計監査人及び監査役会の連結計算書類監査結果報告の件
2. 第42期（自 2022年1月1日 至 2022年12月31日）計算書類報告の件

決議事項

第1号議案	剰余金の処分の件
第2号議案	取締役 7名選任の件
第3号議案	監査役 1名選任の件

監查報告

監査報告（招集ご通知 57頁 インターネット掲載 85頁）

監査役会の監査報告書

監査報告書

当監査役会は、2022年1月1日から2022年12月31日までの第42期事業年度における取締役の職務の執行に関して、各監査役が作成した監査報告書に基づき、審議の上、本監査報告書を作成し、以下のとおり報告いたします。

1. 監査役及び監査役会の監査の方法及びその内容

- (1) 監査役会は、監査の方針、職務の分担等を定め、各監査役から監査の実施状況及び結果について報告を受けるほか、取締役等及び会計監査人からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求めました。
- (2) 各監査役は、監査役会が定めた監査役監査の基準に準拠し、監査の方針、職務の分担等の監査計画に従い、オンライン会議ツール等も活用しながら、取締役、執行役員、監査室等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、以下の方法で監査を実施しました。
 - ① 取締役会その他重要な会議に出席し、取締役、執行役員等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、本社及び主要な事業所において業務及び財産の状況を調査いたしました。また、子会社については、子会社の取締役及び監査役等との意思疎通及び情報の交換を図り、必要に応じて子会社から事業の報告を求め、その業務及び財産の状況を調査いたしました。
 - ② 事業報告に記載されている取締役の職務の執行が法令及び定款に適合することを確保するための体制その他株式会社及びその子会社から成る企業集団の業務の適正を確保するために必要なものとして会社法施行規則第100条第1項及び第3項に定める体制の整備に関する取締役会決議の内容及び当該決議に基づき整備されている体制（内部統制システム）について、取締役及び執行役員等からその構築及び運用の状況について定期的に報告を受け、必要に応じて説明を求め、意見を表明いたしました。
 - ③ 会計監査人が独立の立場を保持し、かつ、適正な監査を実施しているかを監視及び検証するとともに、会計監査人からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求めました。また、会計監査人から「職務の遂行が適正に行われることを確保するための体制」（会社計算規則第131条各号に掲げる事項）を「監査に関する品質管理基準」（2005年10月28日企業会計審議会）等に従って整備している旨の通知を受け、必要に応じて説明を求めました。

以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書、計算書類（貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書及び個別注記表）及びその附属明細書並びに連結計算書類（連結貸借対照表、連結損益計算書、連結株主資本等変動計算書及び連結注記表）について検討いたしました。

2. 監査の結果

- (1) 事業報告等の監査結果
 - ① 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、会社の状況を正しく示しているものと認めます。
 - ② 取締役の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。
 - ③ 内部統制システムに関する取締役会決議の内容は相当であると認めます。また、当該内部統制システムに関する事業報告の記載内容及び取締役の職務の執行についても、指摘すべき事項は認められません。
- (2) 計算書類及びその附属明細書の監査結果
会計監査人有限責任監査法人トーマツの監査の方法及び結果は相当であると認めます。
- (3) 連結計算書類の監査結果
会計監査人有限責任監査法人トーマツの監査の方法及び結果は相当であると認めます。

2023年2月10日

ローランドディー・ジー株式会社 監査役会

常勤監査役 鈴木正康 ㊟

常勤監査役 長野直樹 ㊟

社外監査役 松田茂樹 ㊟

社外監査役 本田光宏 ㊟

以上

以上

監查報告

第42期 事業報告

(自 2022年1月1日 至 2022年12月31日)

本資料に掲載されている当社の業績見通し、計画、戦略などのうち、歴史的事実でないものは、現時点(2023年3月24日現在)で入手可能な情報に基づき当社の経営者が判断したものであり、リスクや不確実性を含んでいます。
実際の業績は、これら見通しとは大きく異なる結果となる場合があります。

第42期(2022年度) 連結業績

需要面

新型コロナウイルス感染症の影響緩和と経済活動の正常化

プリンターへの設備投資や印刷物の出力需要は増加

新製品の低溶剤プリンターとサプライ品のインクの販売が好調

デンタル市場では新興国においてデジタル化の需要をとらえて販売が拡大

第42期 決算概況

供給面

部材調達が困難な状況は継続

調達の状況に応じた生産計画の見直し

代替部品の採用などの対策を実施

生産・供給への影響の低減に努める

第42期 決算概況

利益面

部材価格や海上輸送費などのコストが高騰

販売価格の適正化と収益確保に努める

為替円安効果により売上を大きく押し上げる

増収・増益

第42期 連結業績

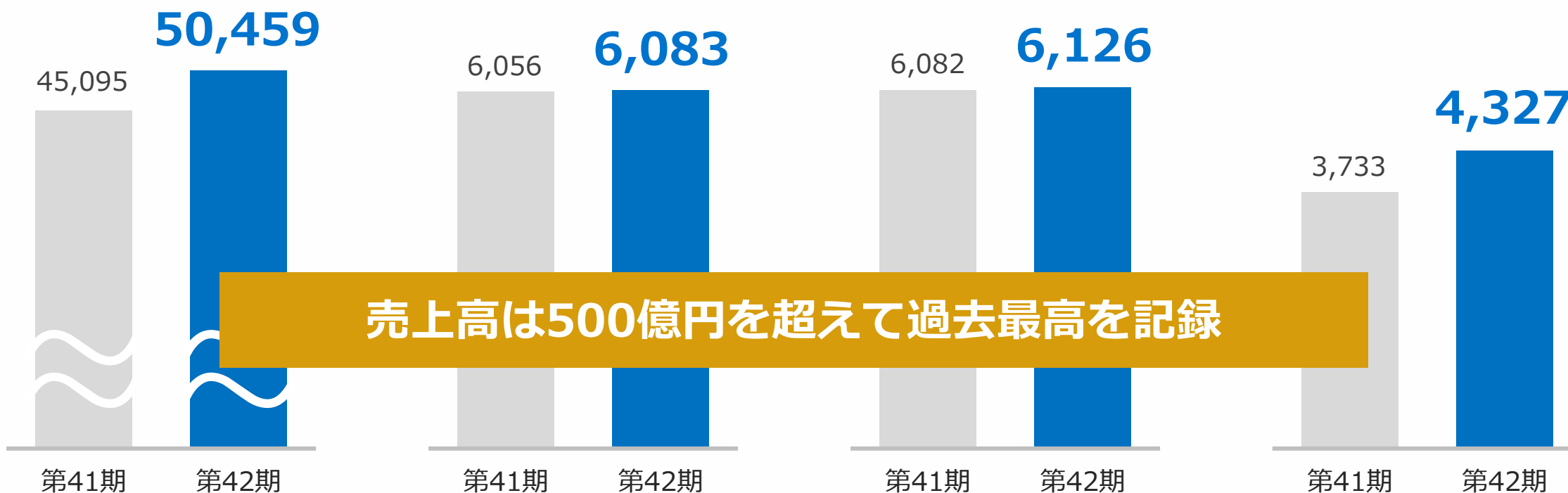
(単位：百万円)

売上高
+11.9%

営業利益
+0.5%

経常利益
+0.7%

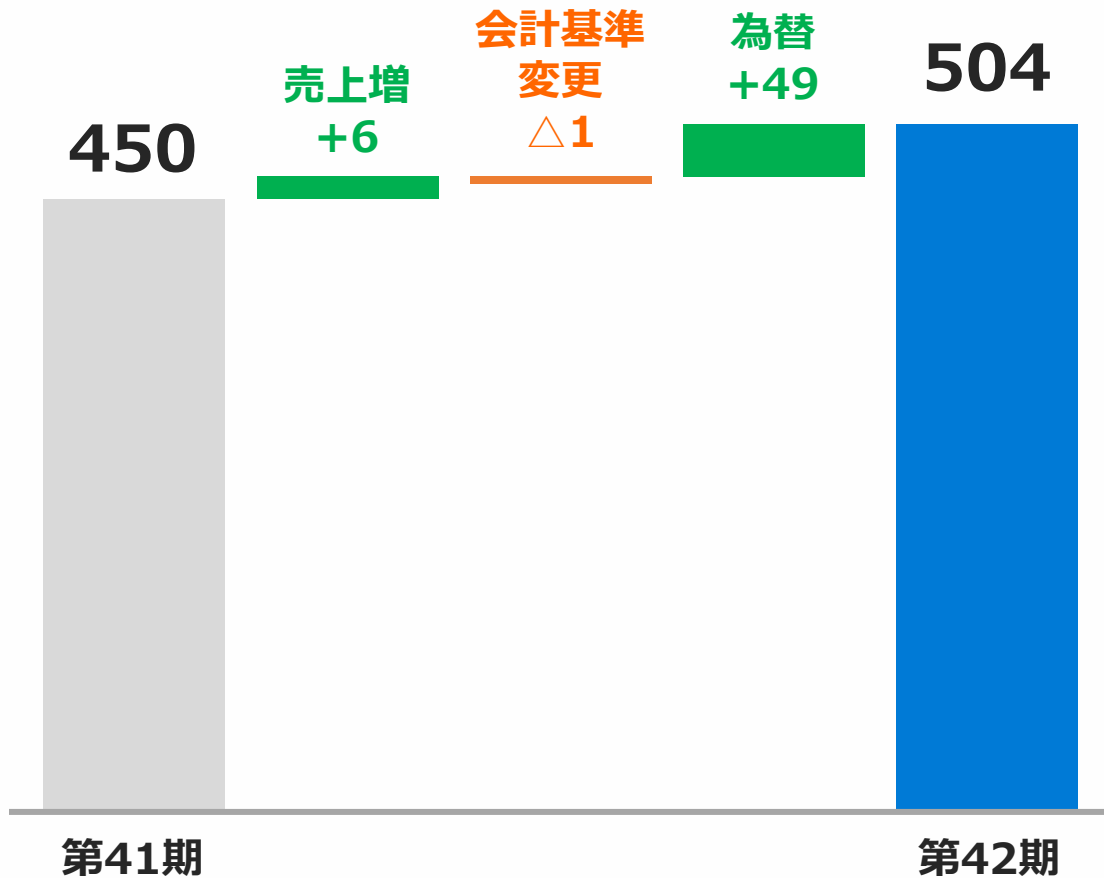
親会社株主に帰属する
当期純利益
+15.9%



売上高の増減要因

(単位：億円)

売上高



円安により49億円の増収

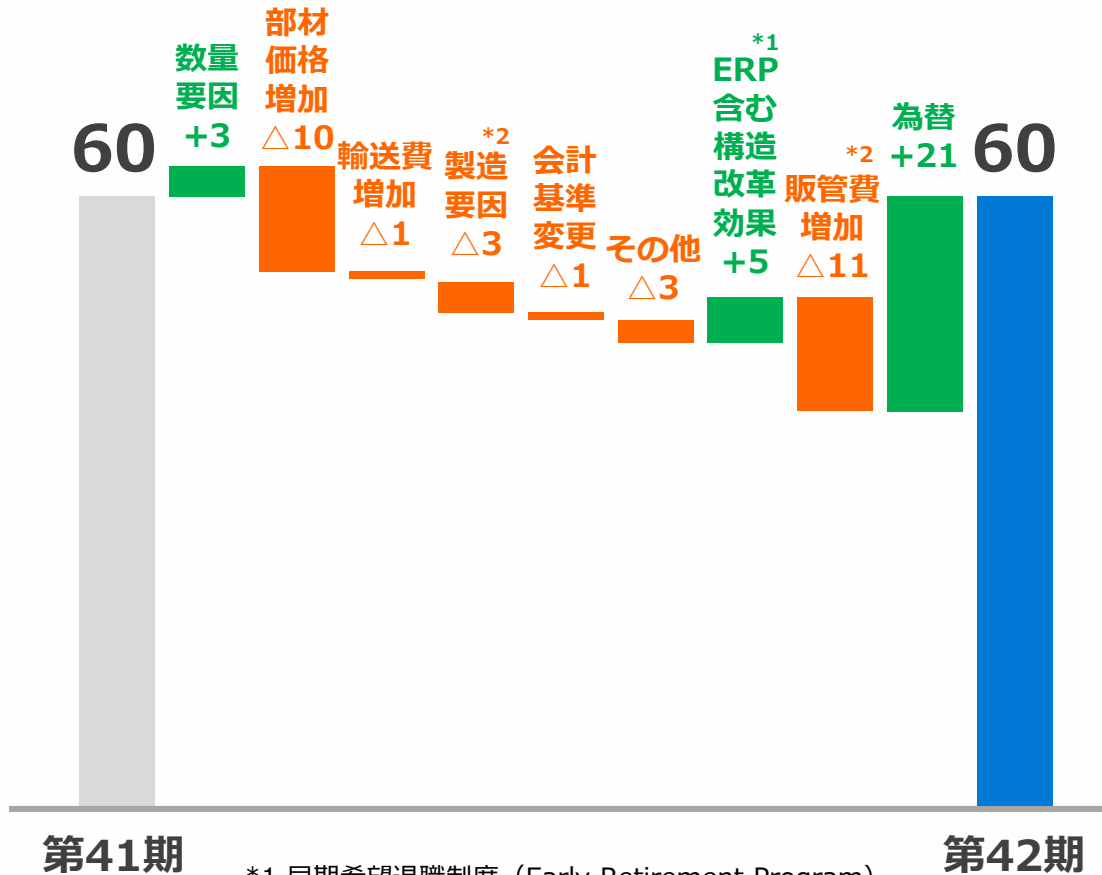
合計で54億円の増収

期中平均レート(円)	第41期	第42期	
USD	109.81	131.46	119.7%
EUR	129.93	138.11	106.3%

営業利益の増減要因

(単位：億円)

営業利益



*1 早期希望退職制度 (Early Retirement Program)
*2 ERPを含む構造改革効果を除く

部材価格や輸送費の高騰が利益を圧迫

販管費の増加が利益を下押し

増収及び構造改革による効率改善により利益を押し上げ

円安によるプラス21億円

期中平均レート(円)	第41期	第42期	
USD	109.81	131.46	119.7%
EUR	129.93	138.11	106.3%

売上開示区分の変更

- ❖ 「成長領域」と「安定領域」を明確化するため、売上高の開示区分を新区分に変更いたしました。

旧開示区分

プリンター

プロッタ

工作機器 (DGSHAPE)

サプライ

その他



新開示区分

Visual Communication

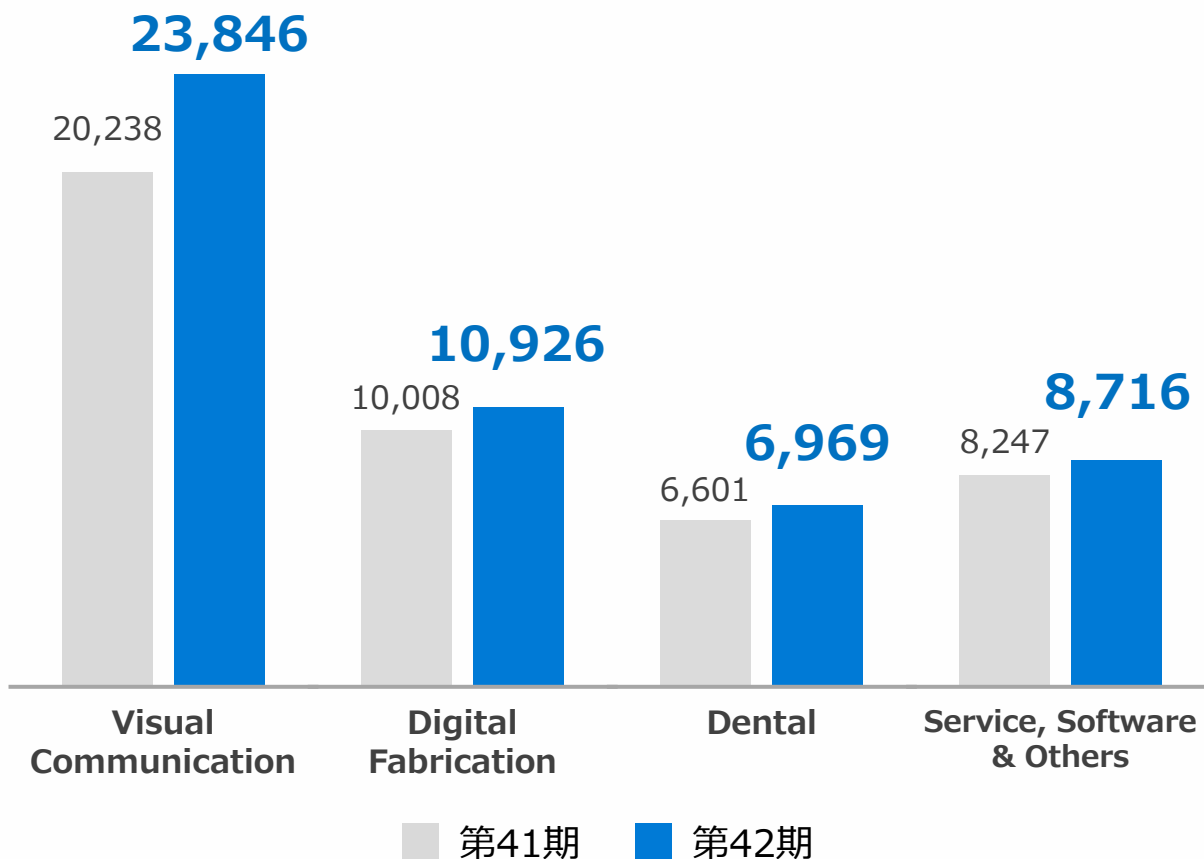
Digital Fabrication

Dental

Service, Software & Others

第42期 市場別売上高

(単位：百万円)



Visual Communication

- 低溶剤プリンターの新製品と低溶剤インクの販売が好調
- UVプリンター及びUVインクの販売が大きく増加

Digital Fabrication

- 卓上型低溶剤プリンター「BN-20A」の販売が増加
- Co-Creationモデルの「LEC2 Sシリーズ」が地域展開により販売拡大

Dental

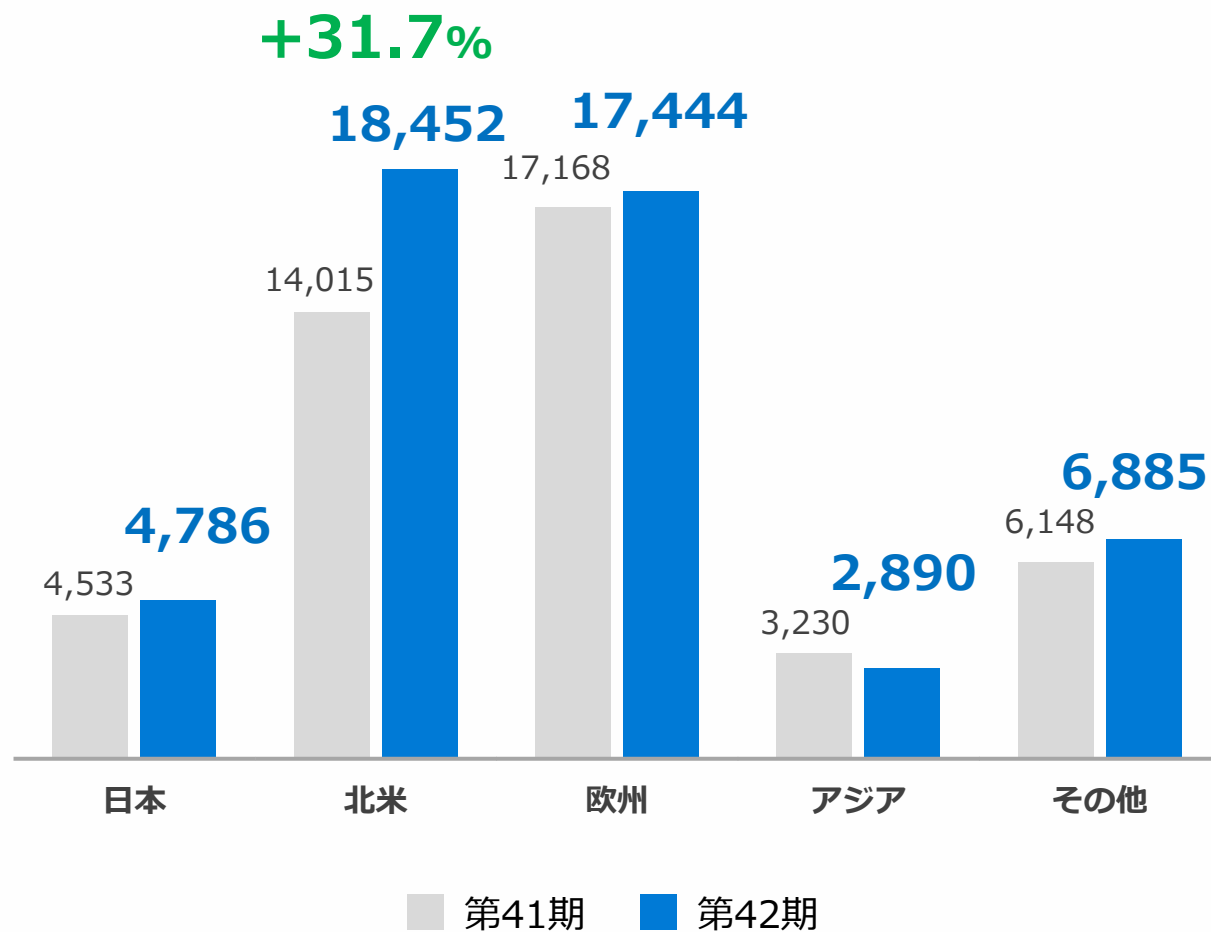
- 中東、中南米を中心に販売が増加
- ディスクチェンジャー付きモデルの販売を開始

Service, Software & Others

- 売上に含む配送料及びその他保守売上などが増加

第42期 地域別売上高

(単位：百万円)



日本

- 新製品のサイン市場向け低溶剤プリンターとデンタル加工機の販売が増加

北米

- サイン市場向け低溶剤プリンターの新製品とインクの販売が増加
- 卓上型の低溶剤プリンター「BN-20A」の販売が大幅に増加

欧州

- ロール型とフラットベッド型のUVプリンターの販売が増加
- サイン市場向け低溶剤プリンターの販売減少

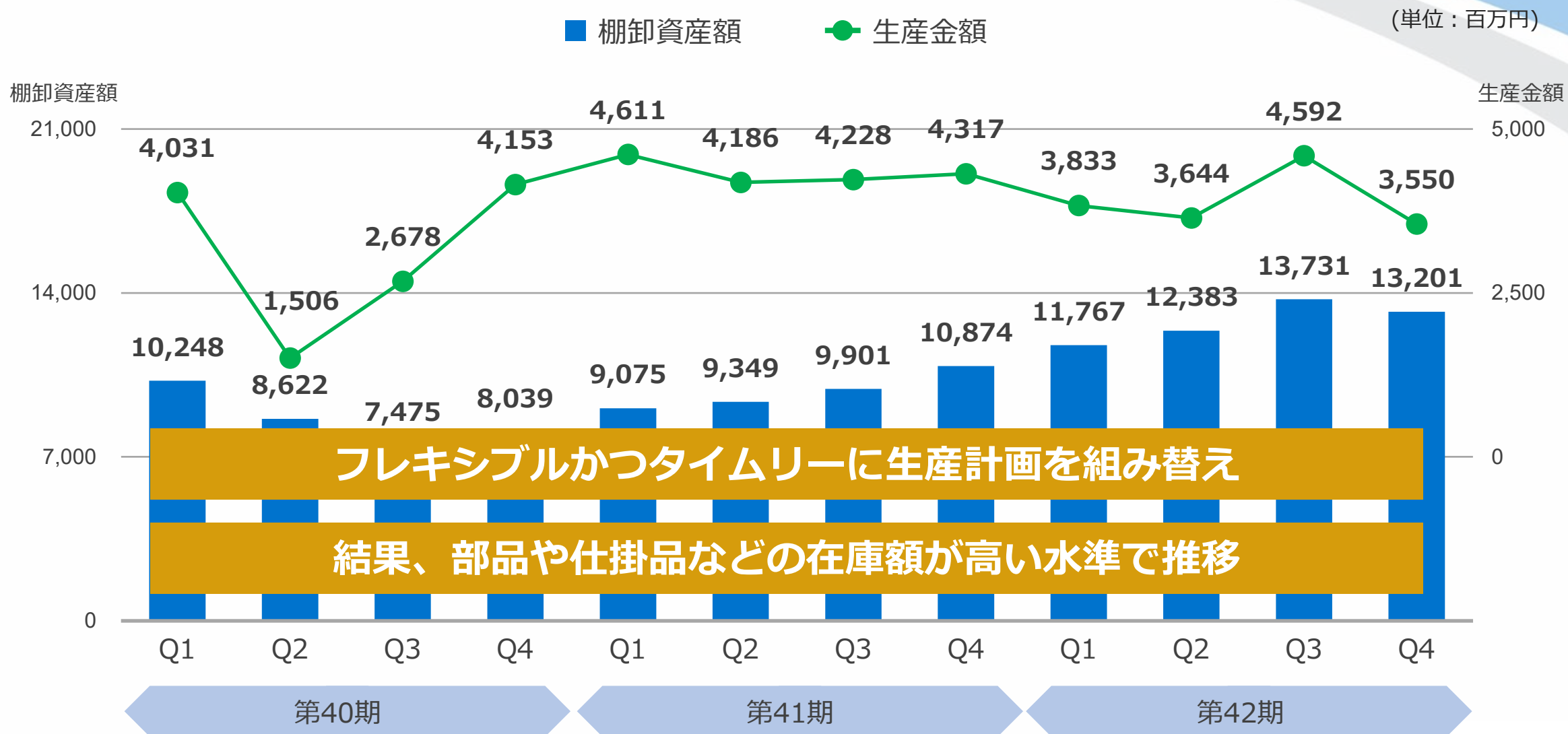
アジア

- インドやベトナムでデンタル加工機の販売が増加
- ゼロコロナ政策が続いた中国で大幅な減収

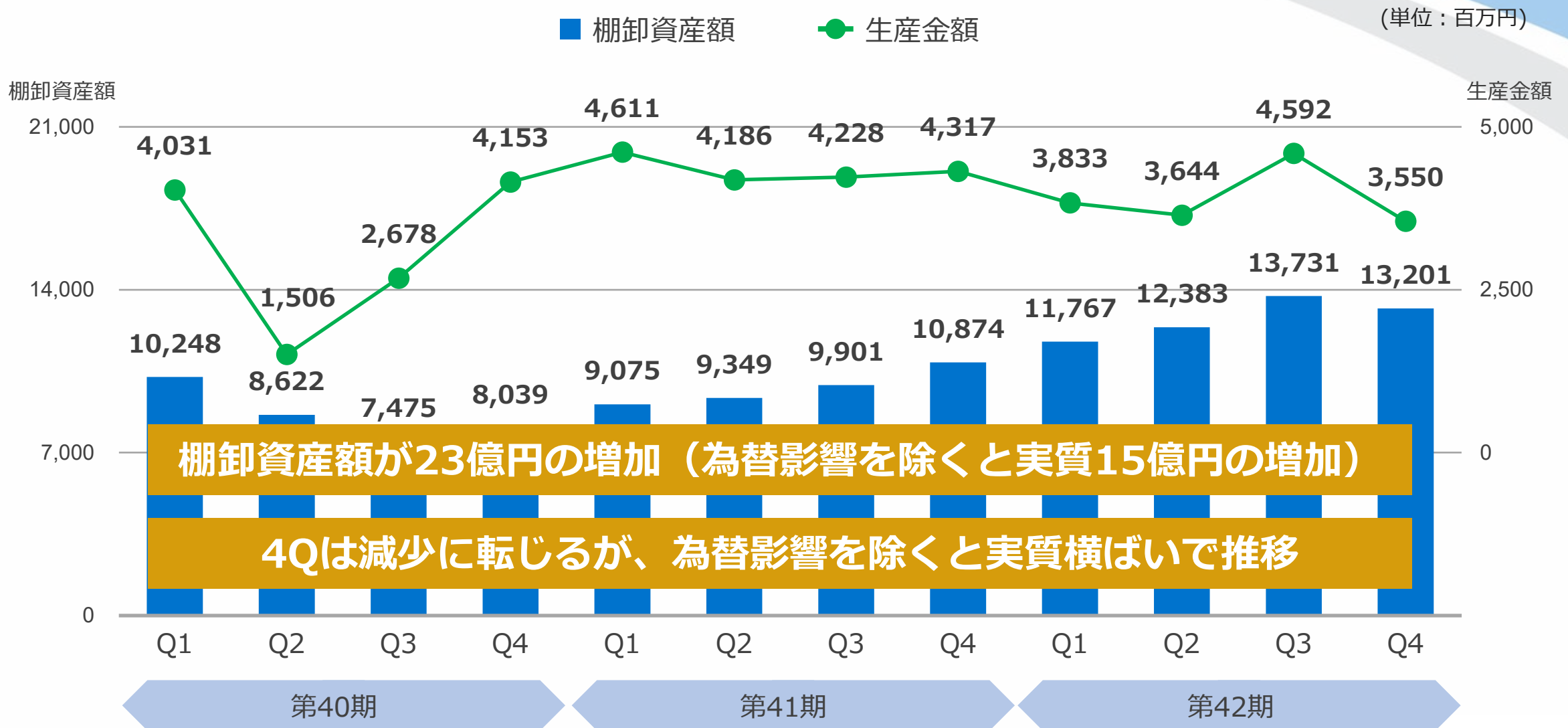
その他

- ブラジルを含む中南米地域で為替円安により増収

棚卸資産額と生産金額の推移

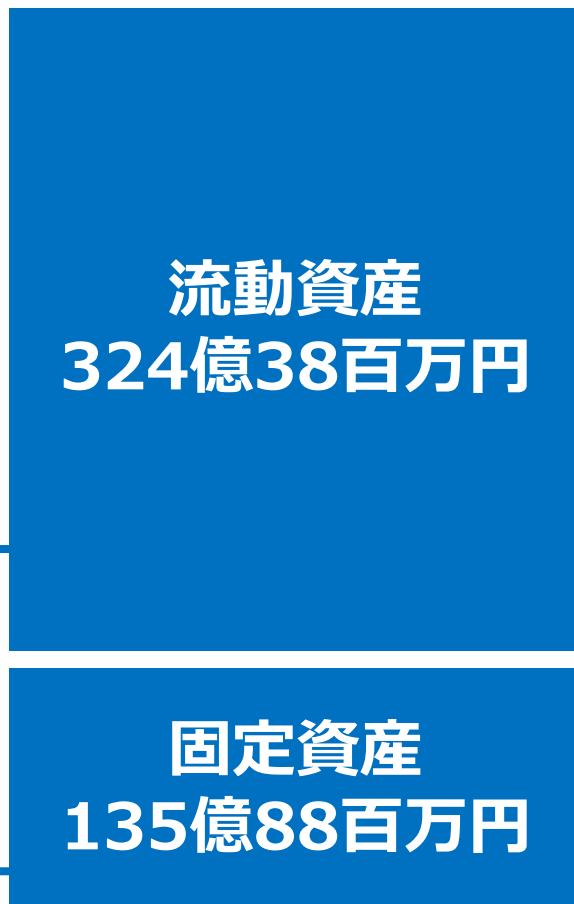


棚卸資産額と生産金額の推移



連結貸借対照表

総資産 460億27百万円



- 現金及び預金
△ 27億13百万円
- 棚卸資産
+ 23億27百万円
- 建物及び構築物
+ 5億79百万円
- 建設仮勘定
+ 8億33百万円

資産の部



負債・純資産の部

- 支払手形及び買掛金
+ 6億2百万円
- 未払金 (ERP実施に伴う特別退職金の支払い)
△ 7億67百万円
- 未払法人税等
△ 12億17百万円
- 自己株式
+ 4億36百万円
- 利益剰余金
+ 29億34百万円
- 為替換算調整勘定
+ 12億39百万円

第43期(2023年度) 連結業績予想

第43期の方針

第43期の方針

- 1 非溶剤系製品のソリューションを拡充し、
インクの種類なども増やすことにより、
ビジュアルコミュニケーション市場の成長を加速
- 2 新興国市場の販売強化
- 3 パーソナライズ分野、カスタマイズ分野の開拓と販売拡大

第43期 連結業績予想

業績予想の前提

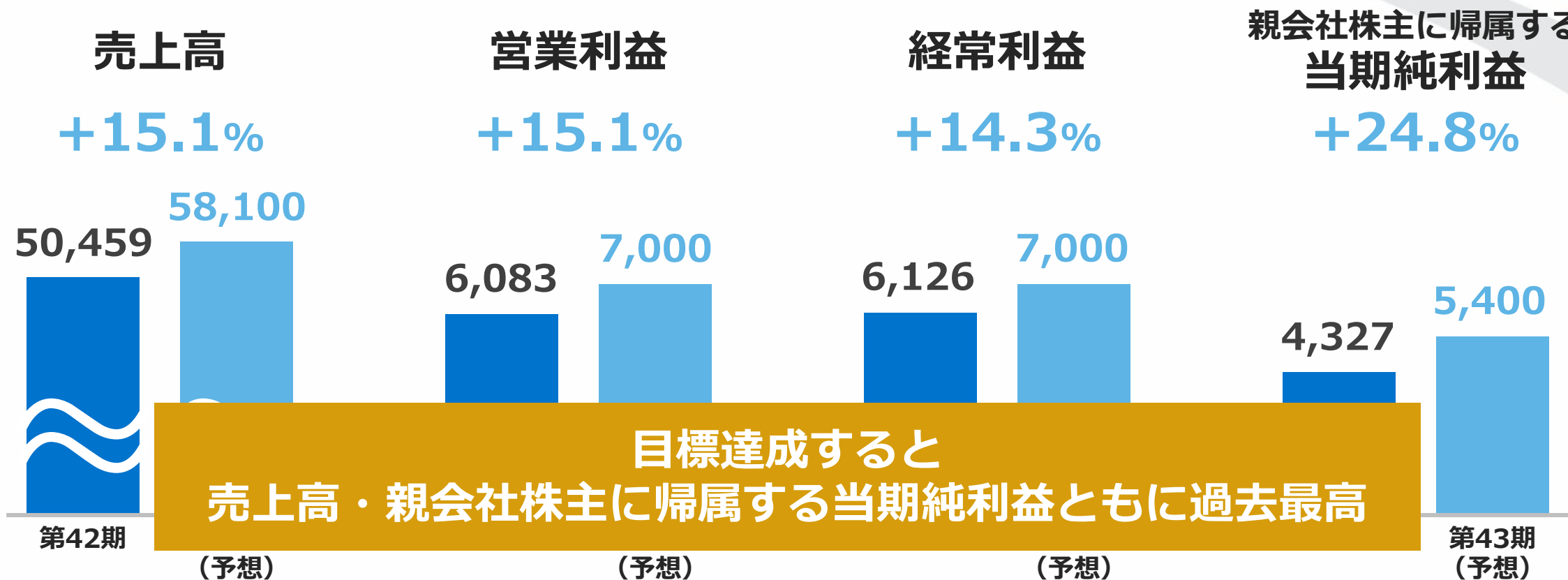
- ❖ 卓上型プリンターの新製品を市場投入
- ❖ 非溶剤系のラインアップを拡充する新製品を市場投入

新製品の投入により成長領域の拡大を加速させ、
売上的大幅な増加を見込む

部材調達が困難な状況は継続するものと想定、
部材コストは前期末時点の水準を織り込む

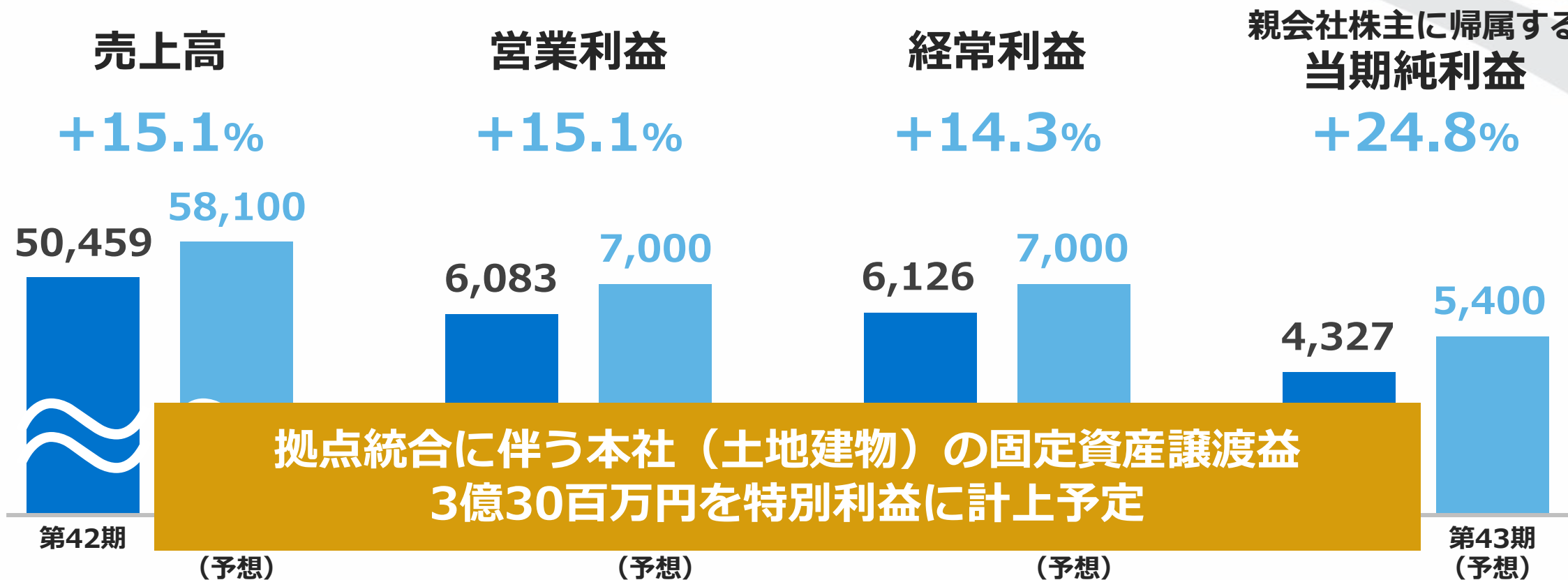
第43期 連結業績予想

(単位：百万円)



第43期 連結業績予想

(単位：百万円)

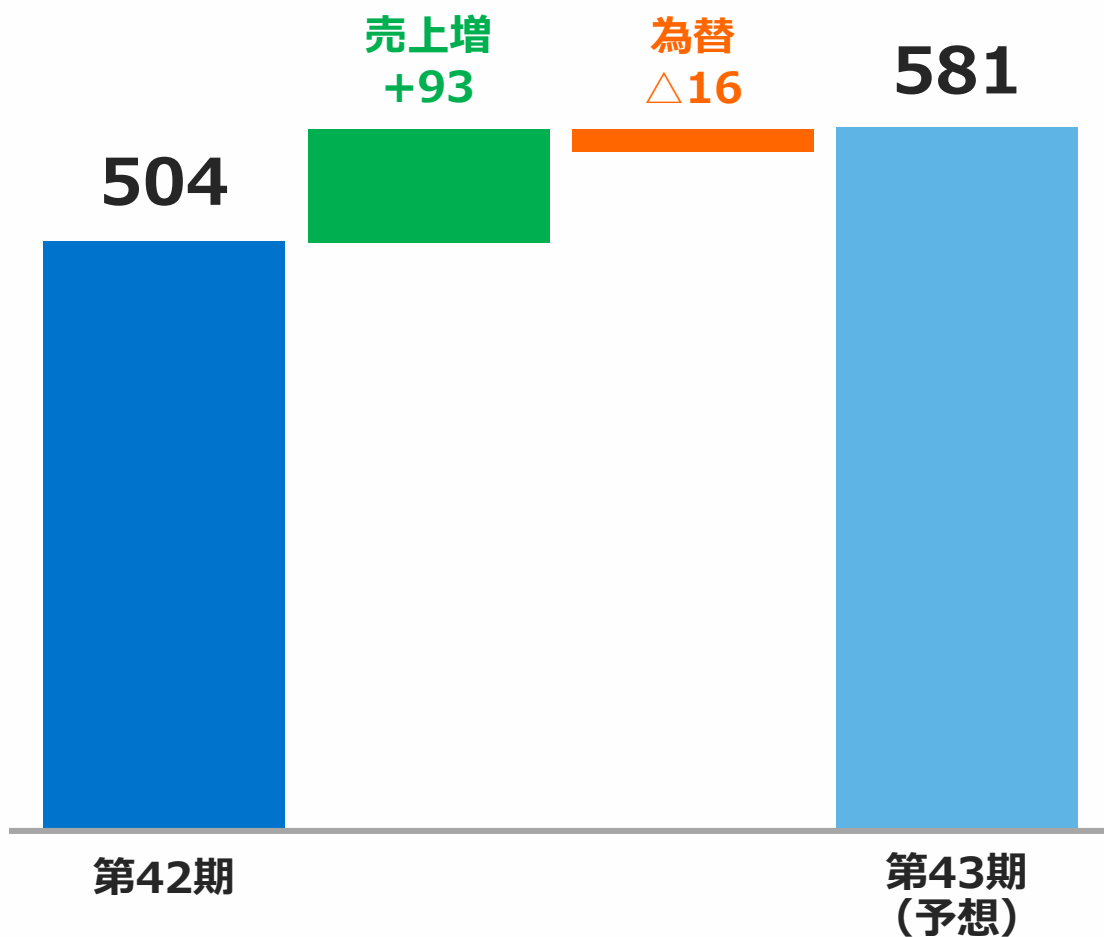


期中平均レート(円)	第42期	第43期想定	
USD	131.46	125.00	95.1%
EUR	138.11	135.00	97.7%

第43期 売上高の増減要因の予想

(単位：億円)

売上高



売上増加によりプラス93億円

円高によりマイナス16億円

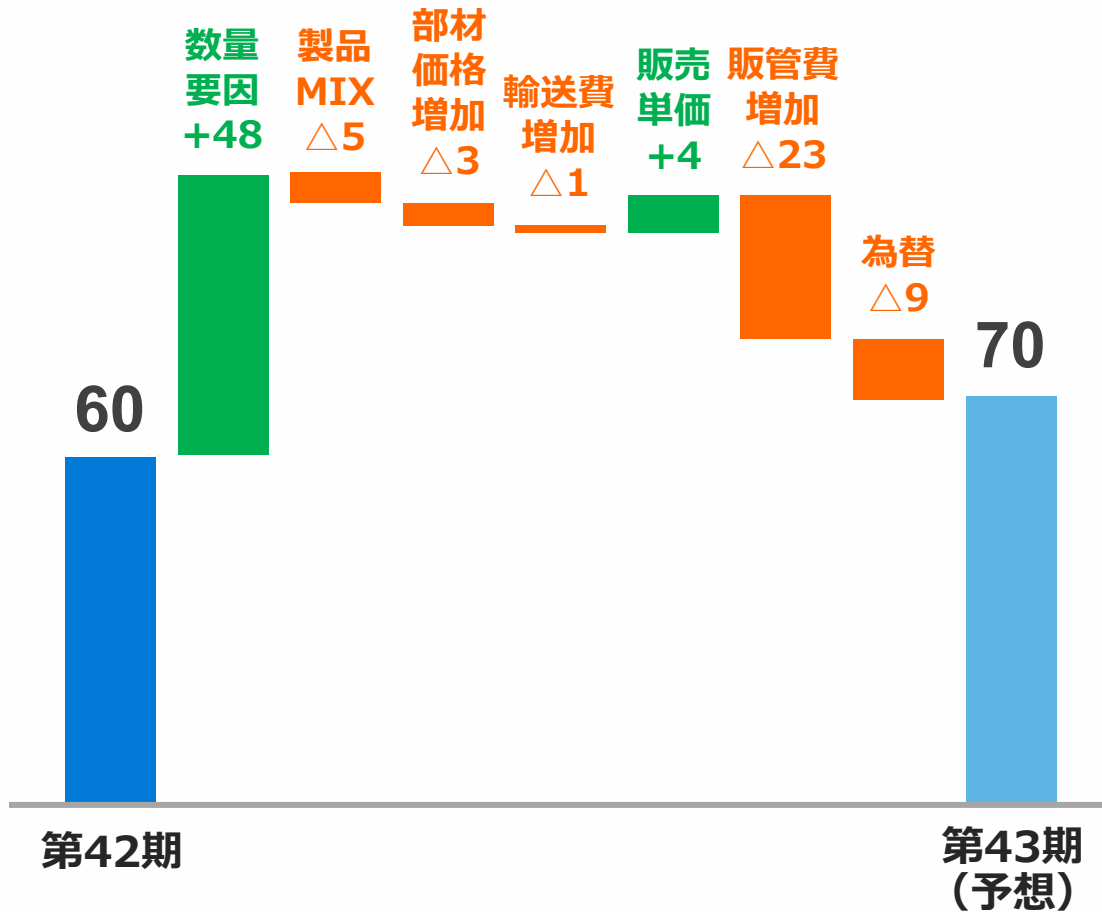
77億円の増収となる見込み

期中平均レート(円)	第42期	第43期想定	
USD	131.46	125.00	95.1%
EUR	138.11	135.00	97.7%

第43期 営業利益の増減要因の予想

(単位：億円)

営業利益



部材価格は3億円、物流輸送費は1億円がそれぞれ増加

製品構成の変化、販管費の増加、為替の円高が利益を下押し

増収と販売単価のプラス効果により増益

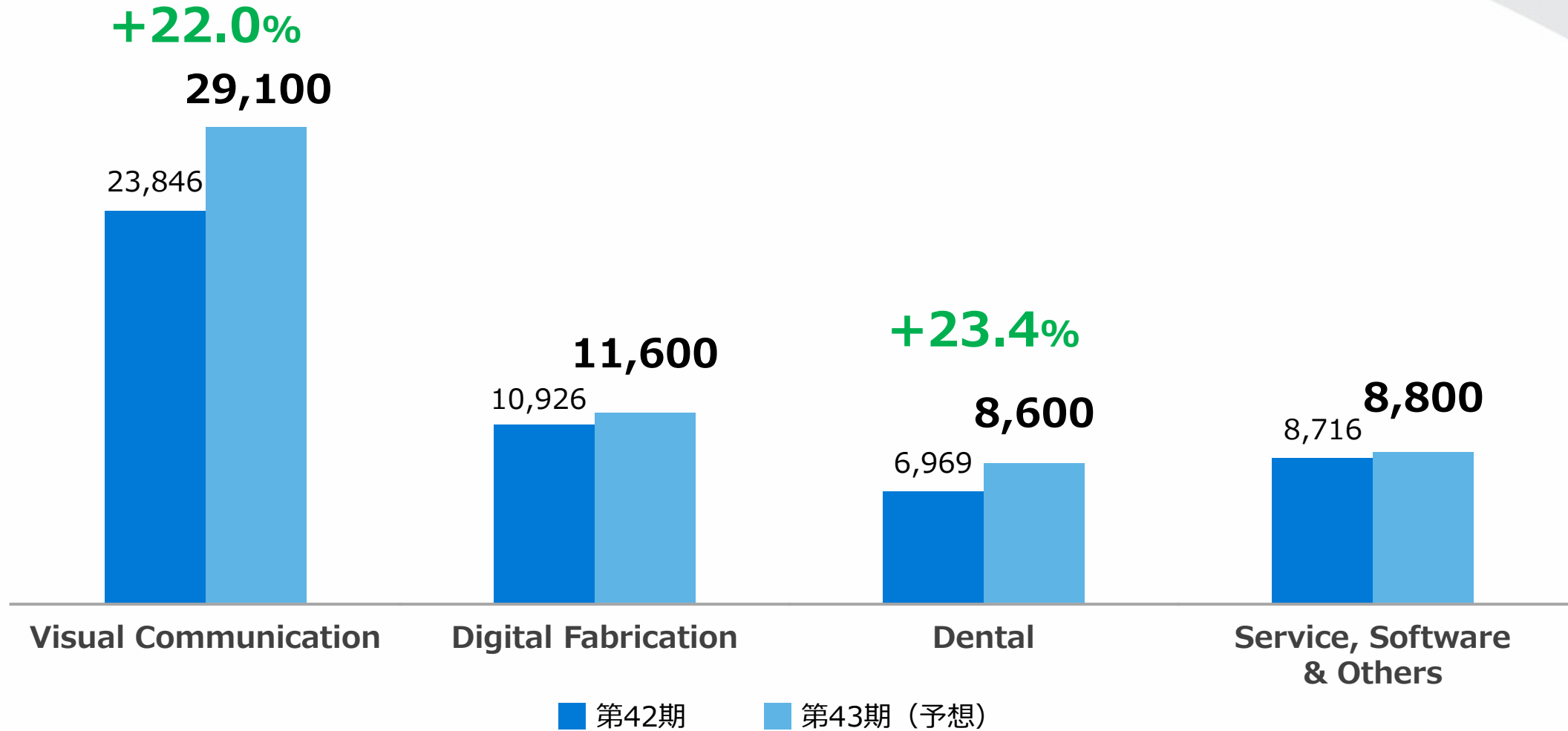
10億円の増益となる見込み

売上高販管費率は1.9ポイント減少

期中平均レート(円)	第42期	第43期想定	
USD	131.46	125.00	95.1%
EUR	138.11	135.00	97.7%

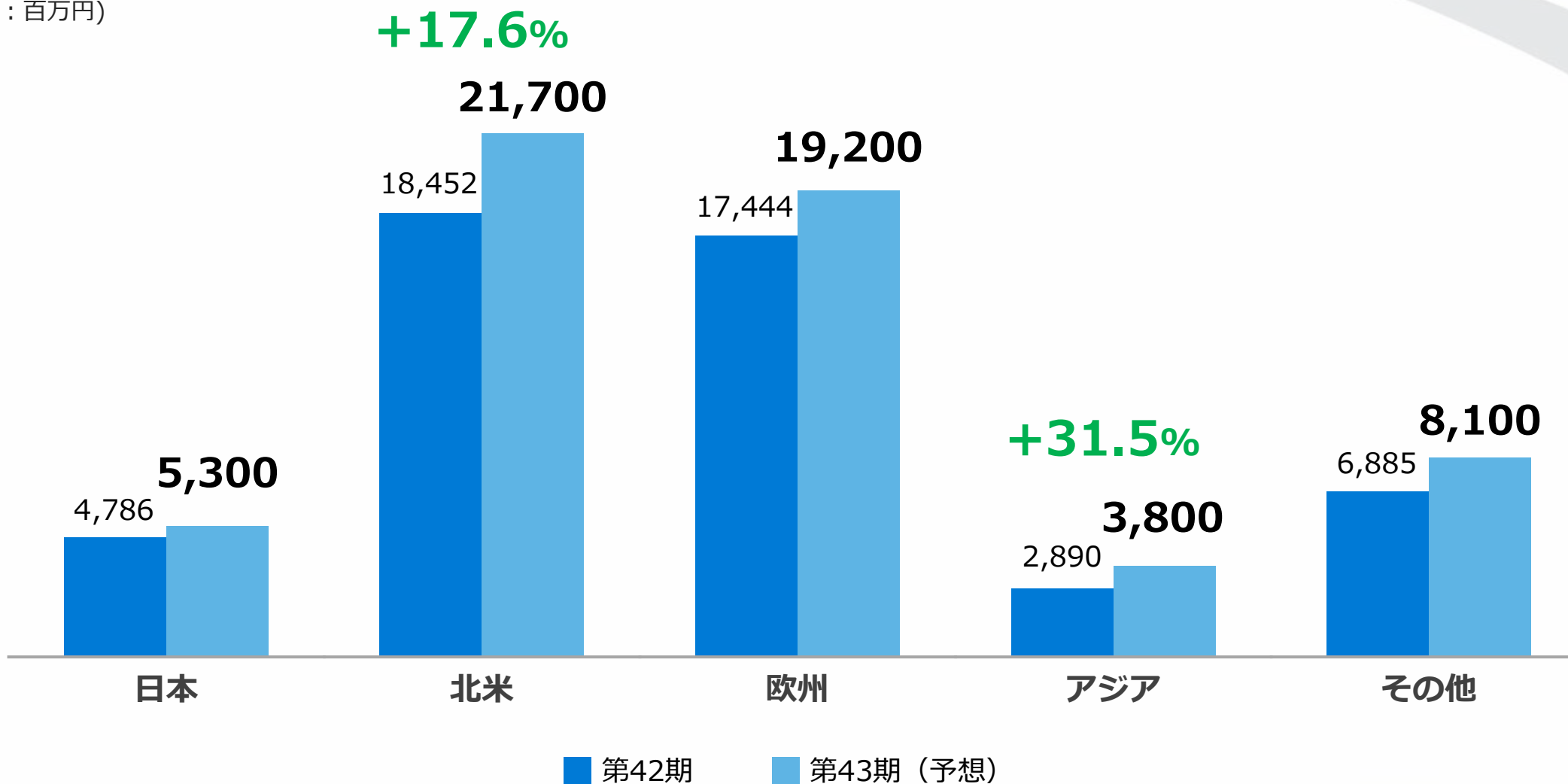
第43期 市場別売上高予想

(単位：百万円)



第43期 地域別売上高予想

(単位：百万円)



本資料に記載されている当社の業績見通し、計画、戦略などのうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に係る見通しです。これらは現時点（2023年3月24日現在）で入手可能な情報に基づき当社の経営者が判断したものであり、リスクや不確実性を含んでいます。実際の業績は、これらの見通しとは大きく異なる結果となる場合があります。

中期経営計画(2021-23) の進捗

2021-23中期経営計画 基本戦略

事業ポートフォリオの転換

- ・ 既存事業の徹底した効率化
- ・ 新興国・新領域への展開

2021-23 中期経営計画 基本戦略

筋肉質な企業体質への変革

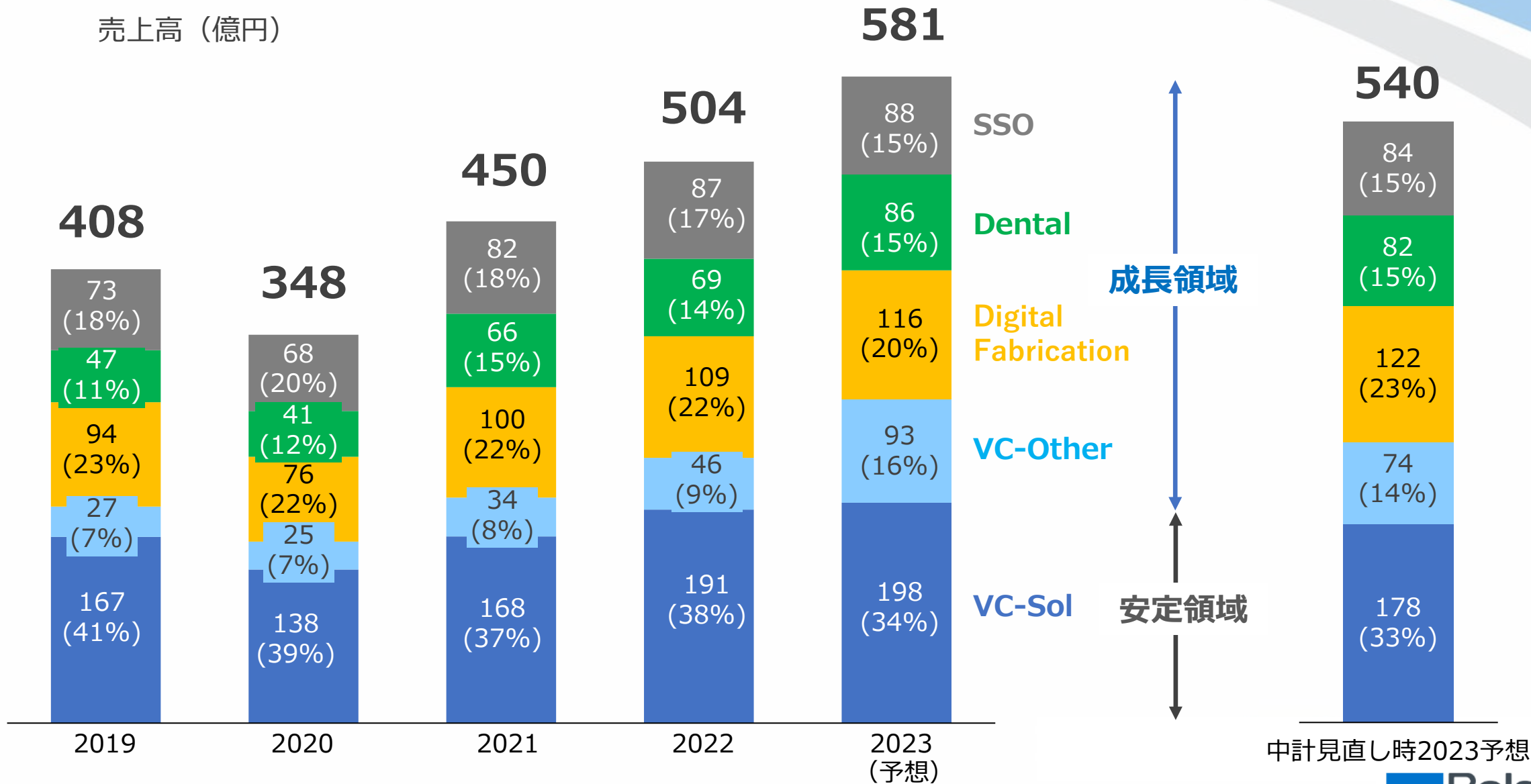
- ・ 製造拠点集約
- ・ 固定費削減
- ・ 経営体制・組織刷新

中期経営計画 達成事項と2023年の重点領域

中計前半は計画通り構造改革とVC領域の基盤強化を実行、
最終年度は成長領域への新製品投入を軸にポートフォリオ転換を加速

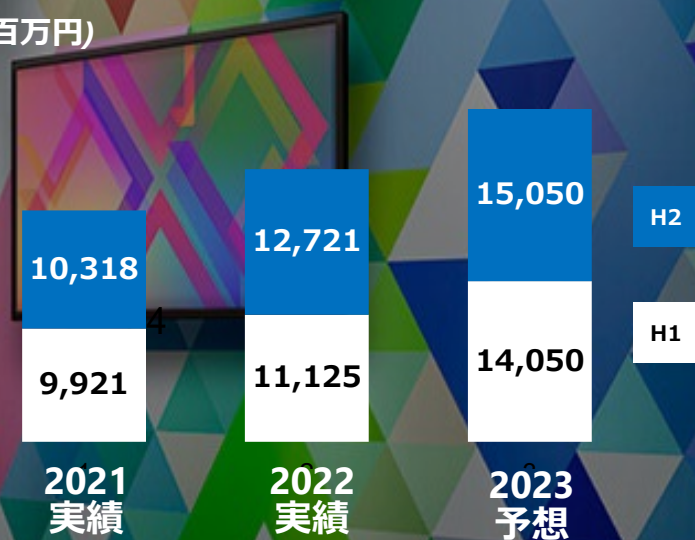
中計 基本戦略	サブカテゴリ	2021~2022 主な達成事項	2023 重点領域
筋肉質な 企業体質	<ul style="list-style-type: none"> 生産拠点集約 固定費削減 経営体制・組織刷新 	構造改革実行	
	安定領域の 基盤強化	Visual Comm. (Solvent) Visual Comm. (Other) Digital Fabrication Services, Software & Others Dental	新プラットフォームモデル投入 (VG3シリーズ、SG3シリーズ) UVのRoll-to-Rollモデル投入 (LEC2シリーズ) 新興国モデル投入、売上拡大
ポートフォリオ 転換	成長領域の 拡大		成長領域向け製品群拡充 <ul style="list-style-type: none"> レジン (AP-640) UV (LG、MG、UGシリーズ) 卓上型 (BN-20D、GS2-24) Roland DG Connectのユーザー増加、提供サービス拡大 新製品の拡販、新興国、クリニック向けの販売拡大を継続

成長領域の比率を拡大し、ポートフォリオ転換を実行



Visual Communication Solvent / Other

(百万円)



市場の見立て

- **Visual Communication ≠ 屋外看板**、市場全体は緩やかに成長
 - 屋外看板は成熟傾向。一方、**ディスプレイや装飾などの消費者への視覚的訴求 (= Visual Communication)** ニーズは拡大
- 一部溶剤インクからUV・水系などその他インクへの切り替えニーズを想定

当社戦略

- 溶剤インクジェットプリンターではNo.1のポジションを堅持
- その他インクタイプにてシェアを獲得、新興国でのシェア伸長
- インクの多様化により、将来の新用途・新市場開拓のための基盤を構築

カテゴリ概要

アプリケーション：サイン、ディスプレイ、店舗内装、バナー、カーラッピングなど

主要顧客：サイン・ディスプレイ印刷業者

製品：溶剤大判ロール型プリンターおよびインク

UVインクやテキスタイルなど大判ロール型プリンターおよびインク

カッティングマシン

新プラットフォームの1号機を投入

VC-Solvent

21-22年の進捗

- 2022年3月、製品開発の効率化とコストダウンを実現する新プラットフォームの1号機として低溶剤インクを搭載するサイン市場向けの主力機「TrueVIS VG3/SG3シリーズ」を発売
- 部品調達難による生産への影響から、上期の新製品効果は限定的も下期から売上に本格寄与

23年の取り組み

- 既存顧客への買替え・増設需要の喚起と取り込み

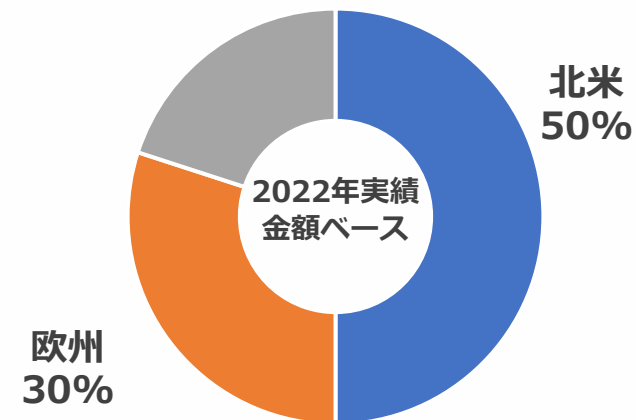


TrueVIS

VG3-640 VG3-540 SG3-540 SG3-300

2022年3月23日発売

TrueVISシリーズの販売地域



- 欧米向け販売が8割
- サイン市場向け主力機種

当社初のレジンインクを含む非溶剤ラインナップを拡充

VC-Other

TrueVIS

TrueVISシリーズに当社初のレジンタイプとUVタイプの計6モデルをラインナップに追加、従来の低溶剤タイプの4モデルと合わせて全10モデルにラインナップを拡充



AP-640



LG-640/540/300



MG-640/540



UG-642



UG-641

Resin Ink

- 環境対応へのニーズに応える**当社初のレジンインク搭載**

UV Ink

- 新開発プリントヘッド搭載により**画質と生産性を向上**した**ハイエンドモデルのLGシリーズ**
- 高精細で多様な印刷表現を**高品質プリント**を実現する**エントリーモデルのMGシリーズ**

UV Ink

- **生産性**に優れたUG-642、**コストパフォーマンス**に優れたUG-641の2機種をラインナップ
- **販売地域**は、アジア（日本を除く）、中東、アフリカ、東欧、CIS（ロシアとベラルーシを除く）、中南米

2023年1月26日発売

2023年3月20日発売

Digital Fabrication

市場の見立て

- ・ パーソナライズトレンドを背景に、スモール・セミインダストリアル事業者による「ちょっとした加飾・加工」へのニーズは今後も拡大
- ・ コロナ禍で、オンラインを含めたスモールビジネス向けのチャネル構築が奏功

当社戦略

- ・ 従来とは異なる顧客層にむけたチャネル構築やマーケティングをグローバルで展開
- ・ 外部パートナーとの協力やCo-Creation活動による、ラインアップ製品拡大

カテゴリ概要

アプリケーション：小物デコレーション、ステッカー、立体物加飾、小物彫刻・マーキング

主要顧客：スモール・セミインダストリアルビジネス、個人事業主、リテールショップ

製品：卓上プリンター、加飾用プリンター、工作用ミリングマシン



コロナ禍を経て存在感増す卓上型プリンター

Digital Fabrication

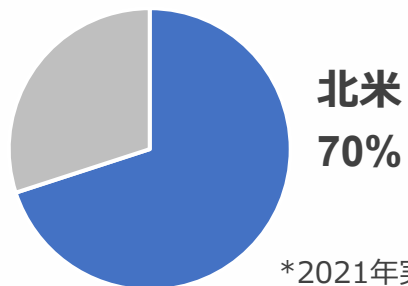
■ 北米でシリーズ販売累計台数**10,000**台を突破



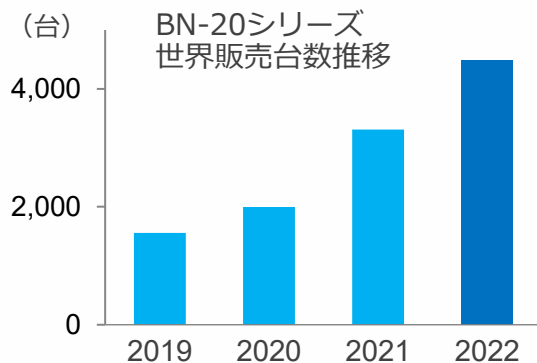
※10,000台目を購入されたユーザー様

- ロゴマークなどのステッカーの需要が根強い地域
- コロナ禍で個人事業主や小規模事業者のニーズにマッチ
- ECサイトなどの新たな販売チャネル開拓が奏功

BN-20/20A販売台数構成比



*2021年実績

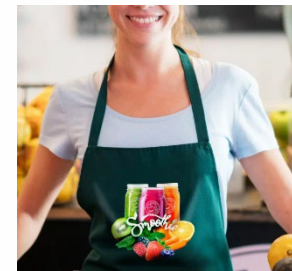


■ DFの売上BNシリーズに新たなラインナップを追加



VersaSTUDIO 2023年1月20日発売
SIGN MAKER BN-20D

- 最新のDTF (Direct To Film) 転写方式
- 1台で綿、ポリエステルなど多様な素材に対応
- カス取り作業が不要で作業工程を効率化し、高品質なアパレルグッズをオンデマンドで制作可能



価 格	980,000円(税別)	販 売 目 標	発売後1年間で800台 (国内海外合計)
インク種類	水性顔料インク		

Dental

市場の見立て

- ・ 長寿化により、デンタル分野は今後も長期的に高い成長を見込む
- ・ 先進国でのメタルフリー歯科材料へのニーズの高まりや、新興国でのデジタル化の加速により引き続き年率10%以上の成長を想定

当社戦略

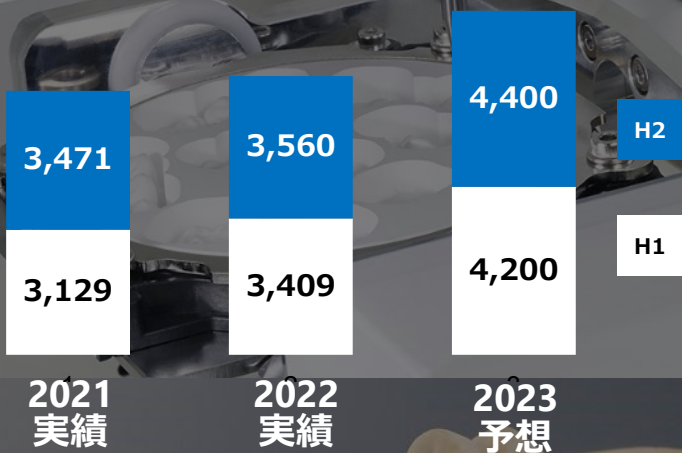
- ・ 現在の主市場（先進国・ラボ）におけるポジショニングを維持
- ・ 歯科ワークフローのデジタル化が加速する新興国市場において販路を強化
- ・ 歯科クリニック市場への拡大や、用途拡大（デンチャー・インプラントなど）によりさらなる成長を目指す

カテゴリ概要

アプリケーション：クラウン・ブリッジ、デンチャー（入れ歯）
インプラントなどの歯科補綴物製作

主要顧客：歯科技工所、歯科クリニックなど

製品：歯科用ミリングマシン



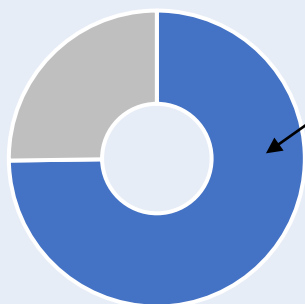
地域のニーズに適した製品展開

Dental

■ 高品質、高生産で先進国需要を獲得

- 2022年9月、デンタル加工機「DWX-53DC」を発売開始
- ディスクチェンジャー機能を搭載する高生産性モデルの最新機種（DWX-52DCiの後継機種）
- 当社ミリングマシンの強みであるコンパクト設計を実現しながら加工品質と生産性を向上
- 生産性を重視する北米・欧州を中心に販売

DWX-52DCiの販売地域（台数比）



北米・欧州
約**75%**

(2021年実績)



DWX-53DC

2022年9月7日発売

■ 専用モデルで新興国を開拓

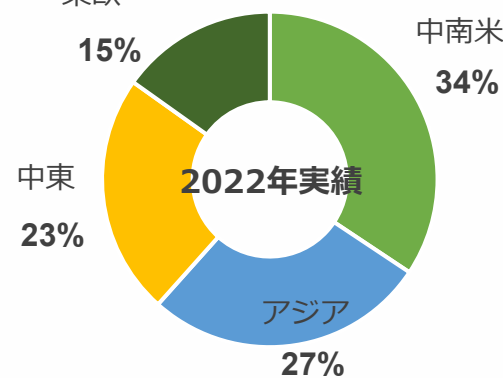
- 2021年、新興国向け専用モデル「DWX-52Di」を販売開始
- 加工品質はそのままに価格競争力を強化
- 販路開拓により2023年以降も新興国地域の販売拡大を見込む



DWX-52Di

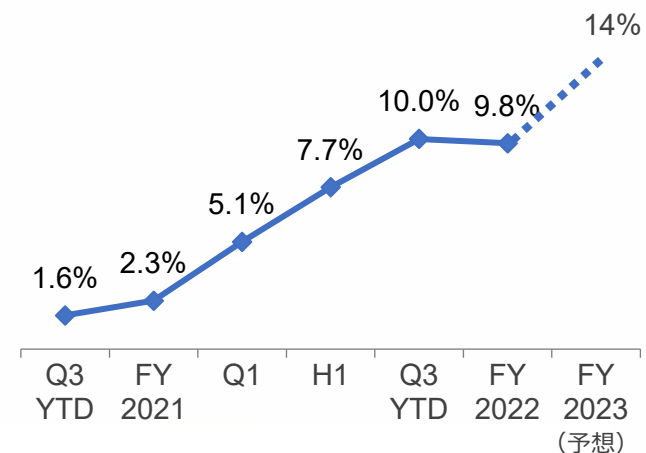
2021年Q3販売開始

DWX-52Diの販売地域（台数比）



2022年実績

デンタル製品売上に占めるDWX-52Di売上比



Service, Software & Others

市場の見立て

- 従来「受け身」「コストセンター」と捉えられていたサービス分野が、今後IoT・Connected 技術により進化
- 当社の各事業分野においてもハード・ソフトを融合した付加価値の提供機会が増加

当社戦略

- リペア・サービスメニューのアップグレードにより、顧客のダウンタイム削減と当社の収益性改善
- Roland DG Connectの展開による、エンド顧客との接点確立
- ソフトウェア（SaaS）など、新しい価値提供や収益機会を創り出すための種まき

カテゴリ概要

製品：スペアパーツ、保守・メンテナンスサービス、ソフトウェア・アプリ など

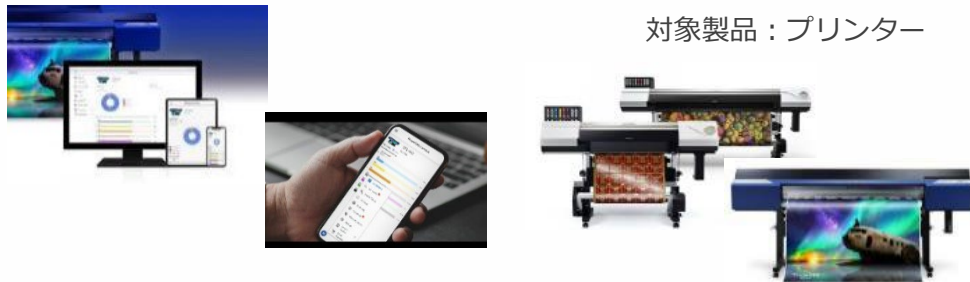
主要顧客：VC、DP、Dental分野での各顧客



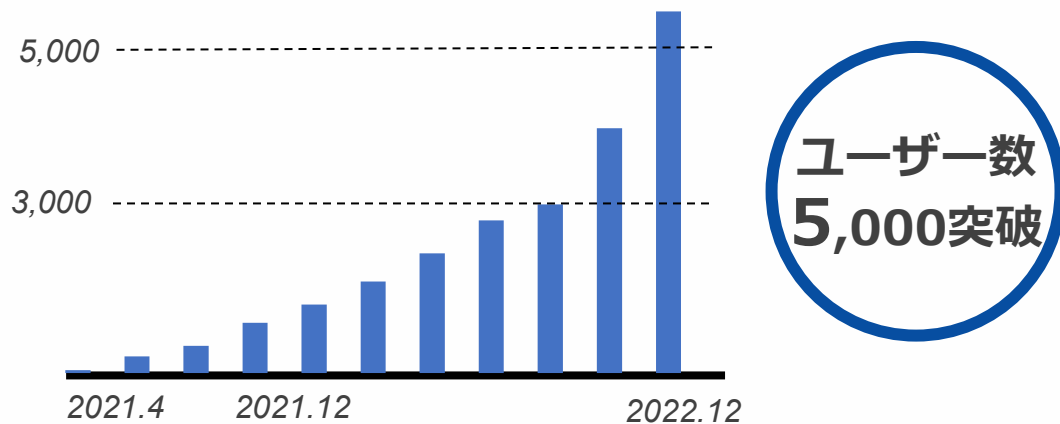
世界でユーザー数が拡大 - コネクテッドサービス -

- ・クラウドサービスのユーザー数が順調に拡大中
- ・機能追加と顧客価値を高める機能の開発に取り組む

Roland DG Connect 2021年4月リリース



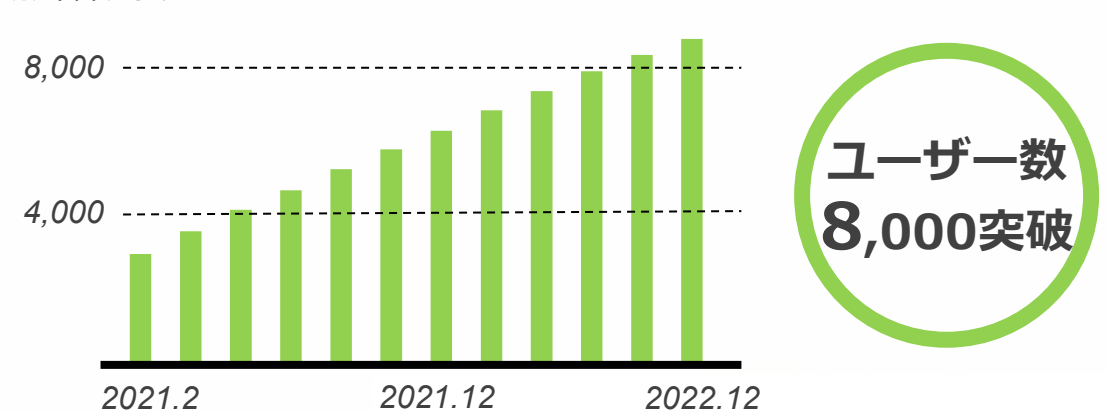
※累計グラフ



DGSHAPE CLOUD 2021年7月リリース



※累計グラフ

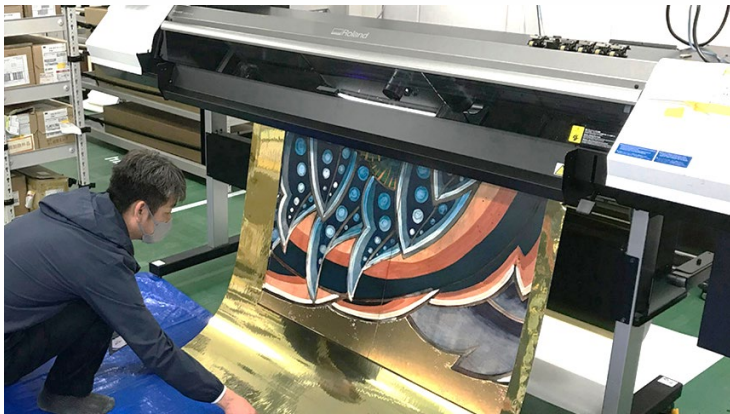


葛飾北斎の天井絵「八方睨み鳳凰図」を再現

TOPICS

日本各地の文化財をデジタル化し、場所や時間を選ばずに楽しめるようにすることで地域を活性化する「分散型デジタルミュージアム構想」に協力。葛飾北斎の晩年の名作として知られる岩松院本堂の天井絵の復原プロジェクトで、UVプリンターを使用して原寸再現しました。

UVプリンター「VersaUV LEC2-640」



間口6.3m、奥行き5.5mを24分割して出力

詳細は当社ブログでご紹介



UVインクの特性を駆使し、鳳凰の赤色や絵具の質感、筆遣いを再現。

タイ工場 最高賞のプラチナムレベルを受賞 (2022年6月30日)

TOPICS

第34回全国労働安全衛生フェアの「労働安全衛生マネジメントシステム基準の導入」において最高賞のプラチナムレベルを受賞

労働省労働安全衛生および労働環境の促進のための公的研究所(T-OSH) が主催。この賞は、労働安全衛生および労働環境に関するマネジメントシステム基準に従って組織・仕組み・運用を審査、2021年度は当社も含め27社がプラチナムレベルを受賞しました。表彰式では、タイのプラユット・チャンオチャ首相から盾を授与されました。



首相より盾を受け取るDGT山下社長（当時）

10周年の節目を迎えたタイ工場

TOPICS

■ 工場稼働開始から10年が経過



Roland Digital Group (Thailand) Ltd.

量産開始 2012年10月1日

従業員数 290名 (2022年12月末時点)

■ 生産能力を強化へ (2022年8月)

- 量産機能の移管を完了し、タイでの生産体制を確立できたことから、将来の需要拡大に対応すべく敷地内の遊休地に新棟の建設を決定
- 新棟建設により生産能力を60%増強 (デンタル加工機換算)



竣工予定：2023年 4月

本社移転統合および本社新社屋建設 (2022年7月28日公表)

TOPICS

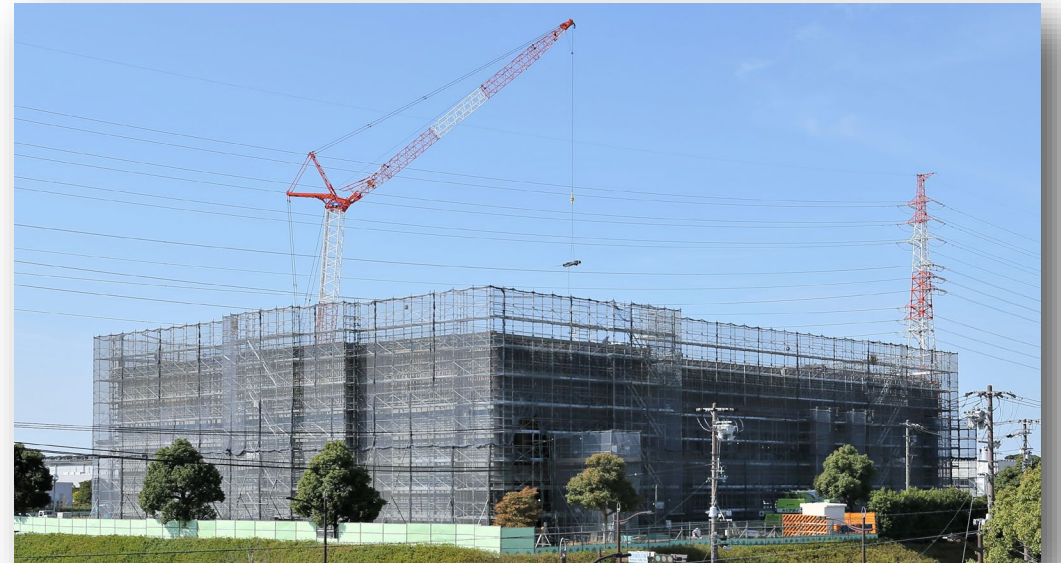
- 本社を都田事業所へ移転、都田事業所と拠点を統合
- 老朽化したR&Dセンターを解体し、本社新社屋を建設
- 省エネと創エネ技術により消費エネルギーを削減、耐震性能に優れた建築物
- 拠点統合により業務効率の向上ならびに維持管理コストを削減
- 多様な働き方に配慮したワークプレイス

延床面積	7,300㎡
構造	RC構造 3階建
着工	2022年9月
竣工予定時期	2023年7月
移転予定時期	2023年10月

完成イメージ図



3月20日時点



従業員が最大限に能力を発揮できる環境づくり

TOPICS

■ 多様な働き方の支援策

フレックスタイム 制度の拡充

コアタイムの短縮 11:00-14:00

在宅勤務限度日数を拡大

月5日から月10日に

育児・介護休業の 取得促進

法改正にともない取得要件の緩和

■ 制度利用状況

平均有休取得率
79.0%

全国平均58.3%

在宅勤務利用率 **52%**

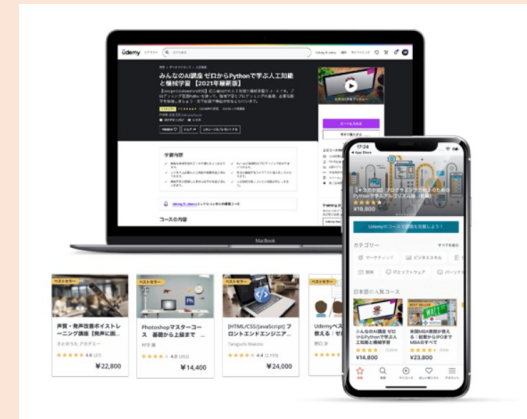
製造業の実施率 44.1%

男性育休取得率
50.0%

全国平均13.9%

■ 人への投資（リスキリング）

DX時代に対応できるグローバルな人材と組織づくりへ全従業員にリスキリングを推進。オンライン講座で、いつでもどこでも学習が可能



udemy business

地域貢献

TOPICS

■ 浜松市

株主優待権利の不行使相当額を浜松市へ寄付



左：田部 右：鈴木康友浜松市長

地元企業様向けDX講習会を開催

はじめての
ノーコード・ローコード
ツール活用講習会
～Microsoftツールを活用したDX推進を学ぶ～

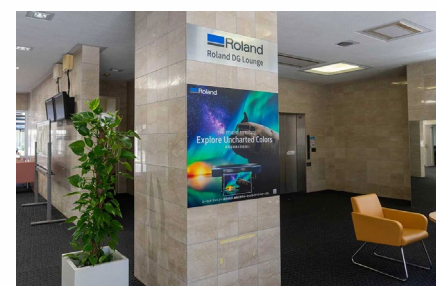
日程 2023年2月28日(水) 10:00～16:00
会場 ローランドディーゼー株式会社 郡田事務所
対象 中小もづくり製造業で以下に該当する企業の方
・Microsoft 認定パートナー企業
・Microsoft 認定ソリューションプロバイダー企業
・認定パートナー企業に委託している企業
・認定パートナー企業と連携している企業
・認定パートナー企業と提携している企業
・認定パートナー企業と共同開発している企業
・認定パートナー企業と共同販売している企業
定員 20名
参加費 1,000円(税込)



■ 静岡大学

将来の製造業を担う大学生の研学生活を支援

ネーミングライツ



リフレッシュスペースのネーミングライツを取得。当社ユーザー様にご協力いただき、インクジェットプリンターを活用して装飾

ものづくりワークショップ



当社製品を提供し、地元の子ども達にもものづくりの面白さをアピール。

100円夕食プロジェクト

私たちは静大生を応援しています!

100円夕食プロジェクト

静岡大学学生会
静岡大学学生生活協同組合
静岡大学学生生活協同組合

「元気に学生生活を送ってほしい」「開催時期に実施する後学期試験も頑張ってもらいたい」という思いに協賛。

取締役・監査役および執行役員の専門性と経験

3月24日定時株主総会後の予定

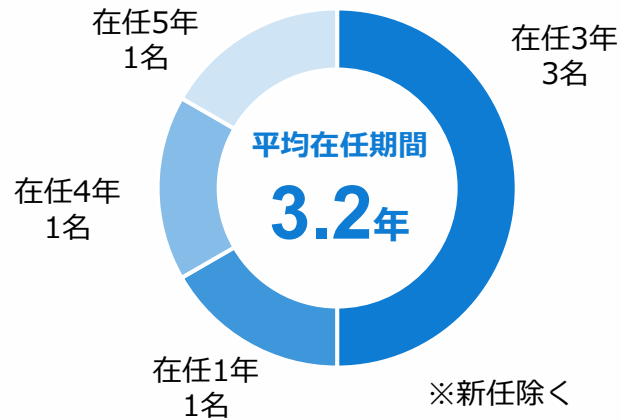
	氏名	基本スキル					戦略スキル					
		企業経営	製造・技術 研究開発	販売・ マーケティング	財務・会計	コンプライアンス・ リスクマネジメント	オープンイノベーション・ 新事業創出	M&A・ アライアンス	IT/DX推進	コーポレート・ コミュニケーション	サステナビリティ 経営*	グローバル 経験
取締役 社長執行役員	田部 耕平	●		●			●					●
取締役 常務執行役員	上井 敏治	●	●		●	●				●		●
取締役 常務執行役員	アンドリュー・オランスキー	●		●			●					●
(独立) 社外取締役	細窪 政	●			●	●	●		●			●
(独立) 社外取締役	岡田 直子	●		●		●		●	●	●		●
社外取締役	ブライアン・K・ヘイウッド	●		●	●	●	●	●		●		●
(独立) 社外取締役	笠原 康弘	●				●	●	●			●	●
監査役	鈴木 正康				●							●
監査役	長野 直樹				●	●						●
(独立) 社外監査役	本田 光宏				●	●					●	●
(独立) 社外監査役	井熊 芽久美	●			●		●					●
常務執行役員	尾藤 寿	●	●				●		●			●
常務執行役員	小川 和宏	●	●	●	●	●	●		●	●		●
執行役員	倉田 裕司		●						●			●
執行役員	トニー・ミラー			●			●	●				●

※サステナビリティ経営にはダイバーシティ&インクルージョン(D&I)、人材育成、SDGsのスキルを含む

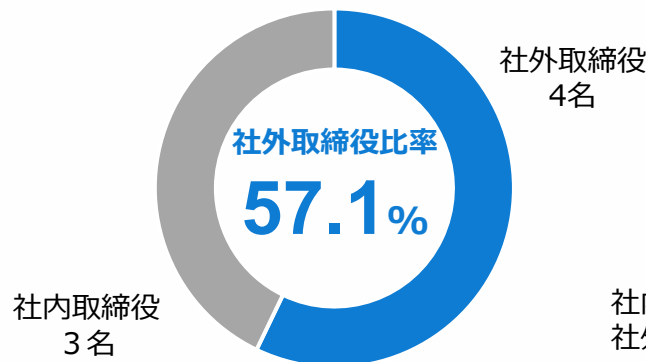
コーポレートガバナンス ハイライト

※3月24日の第42期定時株主総会で承認可決された場合の数値

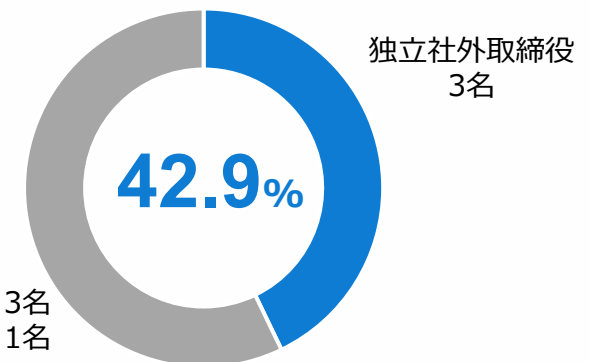
在任期間



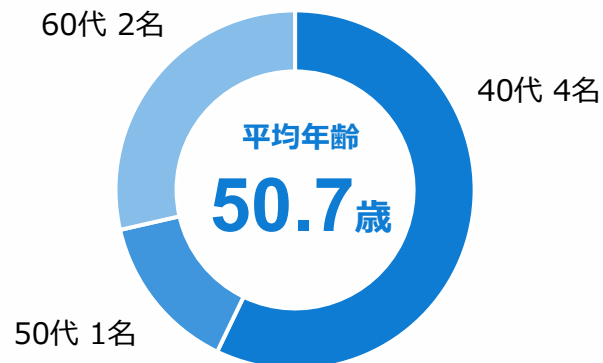
取締役構成



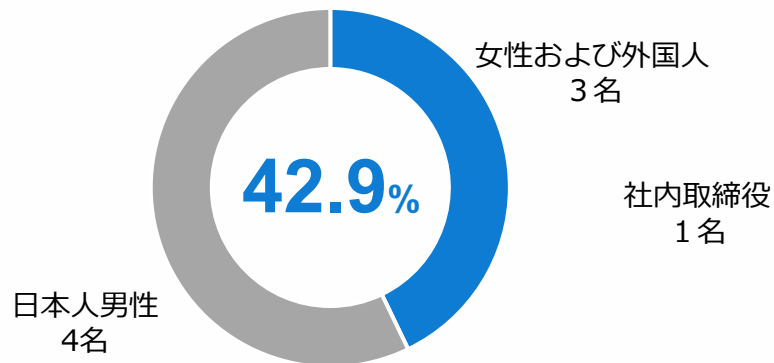
独立性比率



年齢

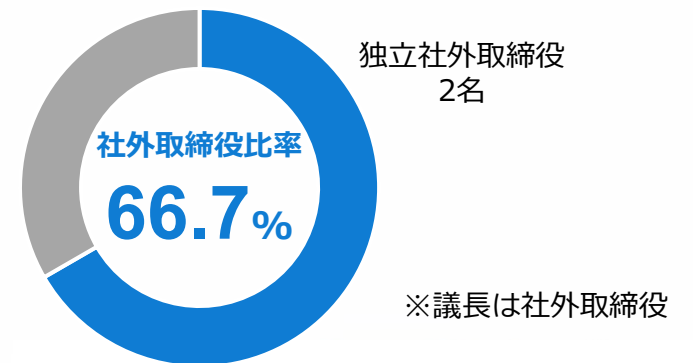


ダイバーシティ



指名・報酬委員会構成

※2022年12月31日時点



ESGの取り組み

Environment (環境)

- ・ 環境に配慮した非溶剤インクソリューションの強化
- ・ エネルギー消費量の75%削減を実現するNearly ZEB認証の新本社社屋の建設
- ・ 環境に優しいモノづくりの推進

*2023年7月末竣工予定

Social (社会)

- ・ デンタルや医療支援システムによる人の健康、安全の向上
- ・ 働き方改革 在宅勤務、フレックスタイム制度の拡充
- ・ セールスプロモーション活動、サービス活動のDX化の推進

Governance (ガバナンス)

- ・ 経営の監督と執行の分離を明確 意思決定を迅速化
- ・ 透明性強化 社外取締役が過半数かつ議長を務める指名・報酬委員会設置
- ・ 取締役会の多様性 外国人、女性、幅広い経験と知見を有する多様な役員構成

ワクワク Purpose: 世界の創造をデザインする



わたしたちは、革新的なデジタルソリューションを通して、世界中の人々に創造の素晴らしさや楽しさ、そこから生まれる驚きや感動を提供します。

本資料に記載されている当社の業績見通し、計画、戦略などのうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に係る見通しです。これらは現時点（2023年3月24日現在）で入手可能な情報に基づき当社の経営者が判断したものであり、リスクや不確実性を含んでいます。実際の業績は、これらの見通しとは大きく異なる結果となる場合があります。

| 事前質問のご紹介

ご質問（要旨）

取締役・監査役・執行役員のうち女性は候補者含め2名と少なく、また社外からのみ登用されていますが、社内の女性の活躍はどのようになっていますか？女性管理職の比率はどれくらいでしょうか？

日本国内でSDGsというと環境配慮のイメージが強いが、グローバルでは貧困の根絶やジェンダー平等も大きく取り上げられており、グローバル企業としてぜひ今掲げている目標以外にも取り組んで欲しい。

本資料に記載されている当社の業績見通し、計画、戦略などのうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に係る見通しです。これらは現時点（2023年3月24日現在）で入手可能な情報に基づき当社の経営者が判断したものであり、リスクや不確実性を含んでいます。実際の業績は、これらの見通しとは大きく異なる結果となる場合があります。

決議事項

報告（ご出席の株主数及びその議決権の数）

議決権を有する株主数	17,563名
その議決権の数	124,932個

第1号議案

「剰余金の処分の件」

ご通知7頁

1株配当金および配当性向

1株当たり
年間配当

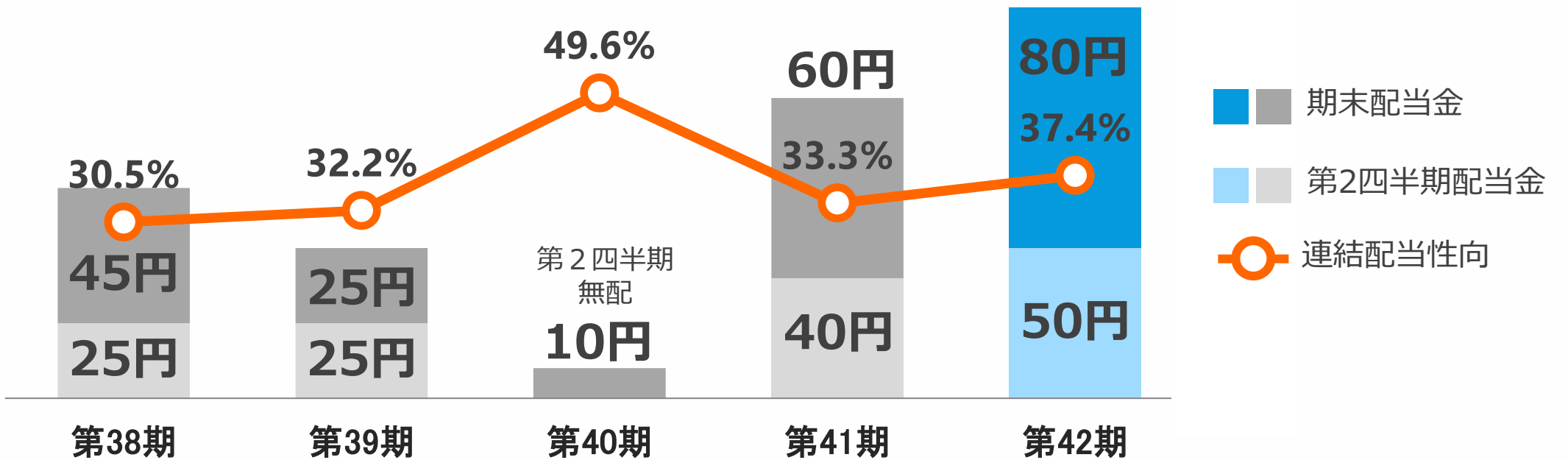
70円

50円

10円

100円

130円



取締役候補者

- | | | | |
|---|---------------|---|-------------|
| 1 | 田部 耕平 | | (たなべ こうへい) |
| 2 | 上井 敏治 | | (うわい としはる) |
| 3 | アンドリュー・オランスキー | | |
| 4 | 細窪 政 | ※ | (ほそくぼ おさむ) |
| 5 | 岡田 直子 | ※ | (おかだ なおこ) |
| 6 | ブライアン・K・ヘイウッド | ※ | |
| 7 | 笠原 康弘 | ※ | (かさはら やすひろ) |

※ 社外取締役候補者

監査役候補者

1 井熊 芽久美 (いくま めぐみ)

※ 社外監査役候補者

取締役及び監査役の紹介



井熊 芽久美



笠原 康弘



鈴木 正康



長野 直樹



本田 光宏



ブライアン・K
・ヘイウッド



細窪 政



上井 敏治



田部 耕平



アンドリュー・
オランスキー



岡田 直子

議長席